

# カンファレンスコール

---

**2011年度 第1四半期決算**  
(2011年4月1日～2011年6月30日)

**説明者： 常務執行役員 坂井 学**

**開催日時： 2011年7月29日(金) 15:00～15:45**



**第一三共株式会社**

## 製品関連

消炎鎮痛剤 SPRIX<sup>®</sup> (米国)

5月 発売

NMDA受容体拮抗 アルツハイマー型  
認知症治療剤 メマリー<sup>®</sup> (日本)

6月 発売

経口FXa阻害剤 リクシアナ<sup>®</sup> (日本)

4月 承認取得  
7月 薬価収載、発売

## 事業関連

北里第一三共ワクチン

4月 事業開始

Plexxikon

4月 買収完了

## 震災対応

小名浜工場

9月 生産再開(予定)



# 決算概況

## 連結損益計算書 推移

	2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	2011年度	
			予想	進捗
売上高	2,564	2,317	9,700	24%
売上原価	641	599	2,900	21%
販売費及び 一般管理費	1,313	1,283	5,900	22%
研究開発費	436	410	2,000	21%
その他販管費	877	873	3,900	22%
営業利益	611	435	900	48%
経常利益	701	448	900	50%
当期純利益	331	253	500	51%

為替 レート	USD/円	92.02	81.75	82.00
	EUR/円	117.00	117.40	115.00
	INR/円	1.98	1.83	1.90

## ランバクシーグループ ※

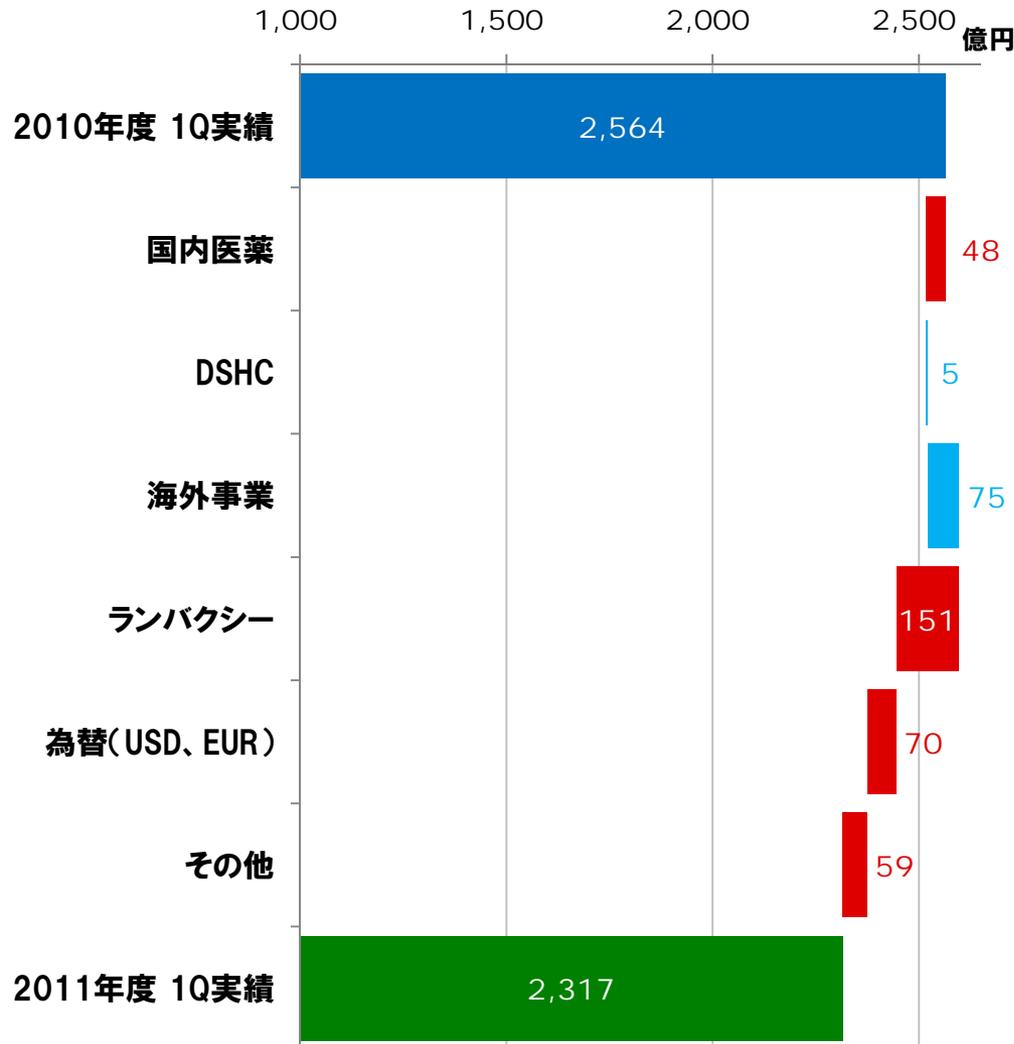
2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	2011年度	
		計画	進捗
549	400	1,620	25%
192	188		
164	159		
33	23		
131	137		
193	53		
283	58		
184	69		

※ 連結調整前の数値

単位: 億円



売上高増減要因



**国内医薬 -48**

- ・新薬の寄与 +44  
メモリ +22、レザルタス +10  
クラビット注、イナビル、ロキソニンゲル
- ・販売権返還 -83

**第一三共ヘルスケア (DSHC) +5**

- ・2011年1月に発売したロキソニンSが寄与

**海外事業 +75**

- ・第一三共Inc. (DSI) +54  
オルメサルタン +27、エフィエント +14  
ウェルコール +9
- ・ルイトポルド (LPI) -4
- ・第一三共ヨーロッパ (DSE) +20  
オルメサルタン +22
- ・アジア/中南米 (ASCA) +5

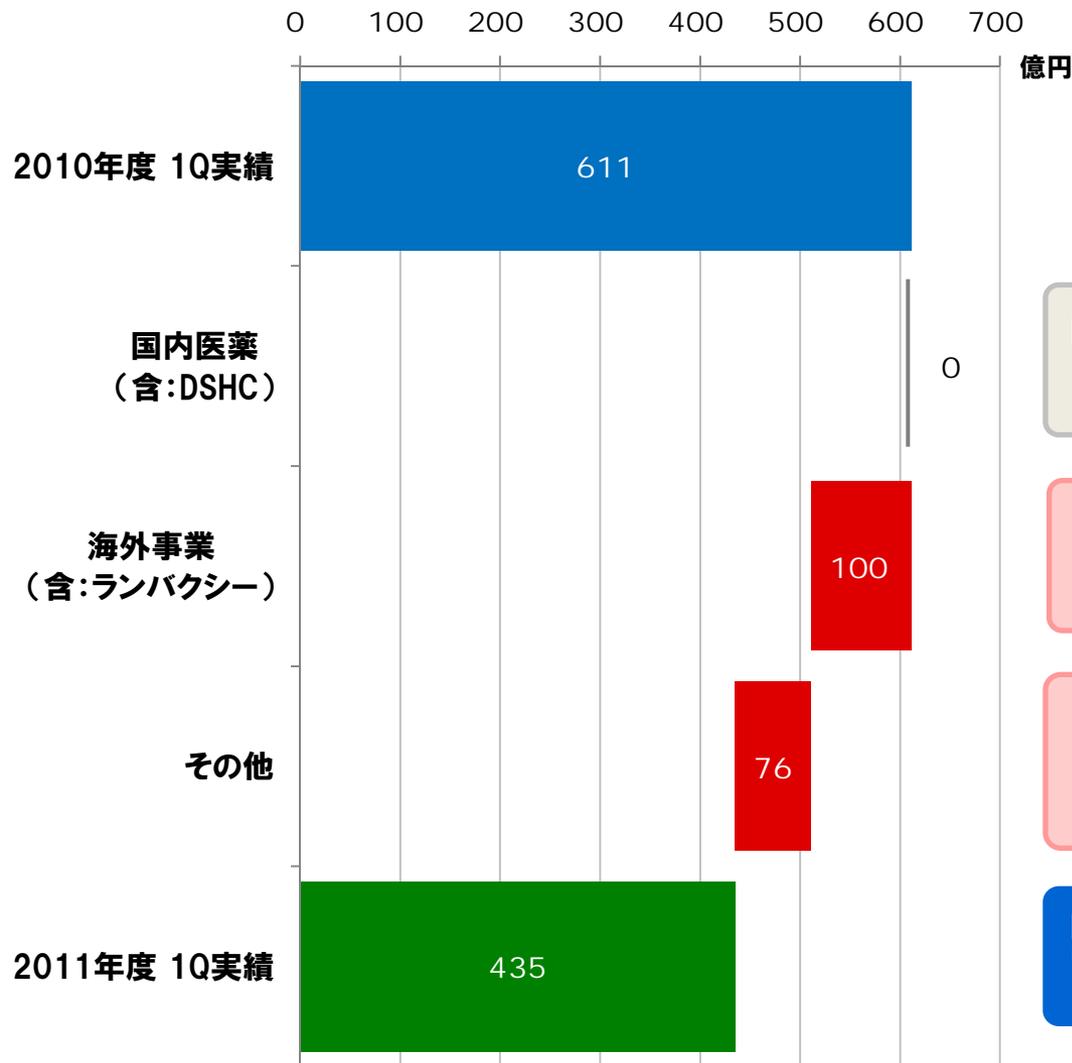
**ランバクシー (RLL) -151**

- ・プラス要因: ドネベジルの寄与
- ・マイナス要因: バラシクロピルの伸長(前期)  
タムスロシン一時金収入(前期)

**その他 -59**

- ・プラス要因: Plexxikonの新規寄与
- ・マイナス要因: レボフロキサシン輸出・特許料等の減少  
デノスマブ一時金収入(前期)

営業利益増減要因



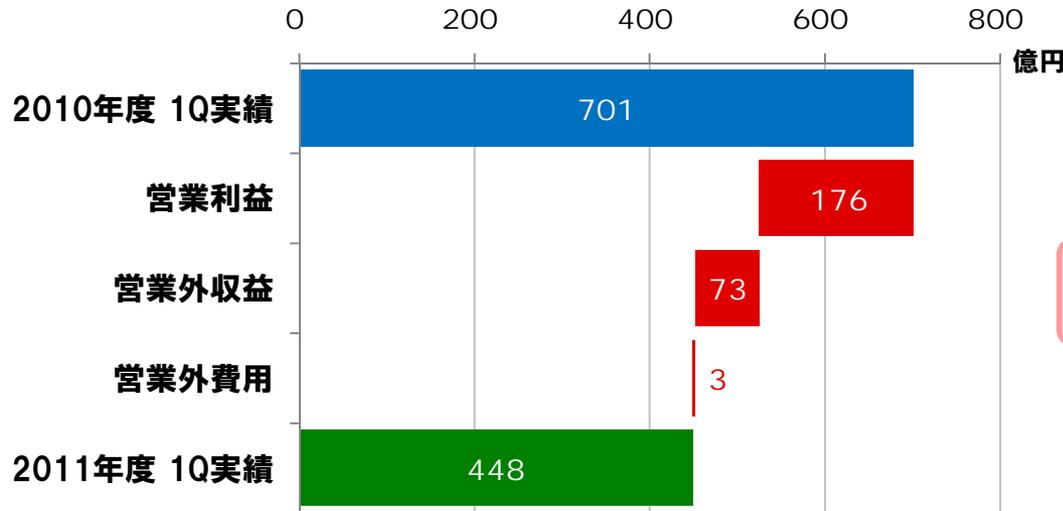
**国内医薬(含:DSHC) ±0**  
 ・販売移管による減益を、新薬拡大による製品構成改善等によりカバー

**海外事業(含:ランバクシー) -100**  
 ・ランバクシー -140  
 バラシクロピルの伸長(前期)  
 タムスロシナー時金収入(前期)

**その他 -76**  
 ・Plexxikon +17  
 第1四半期は収入が先行  
 ・輸出等(レボフロキサシン他) -35  
 ・デノスマブ一時金収入 -55

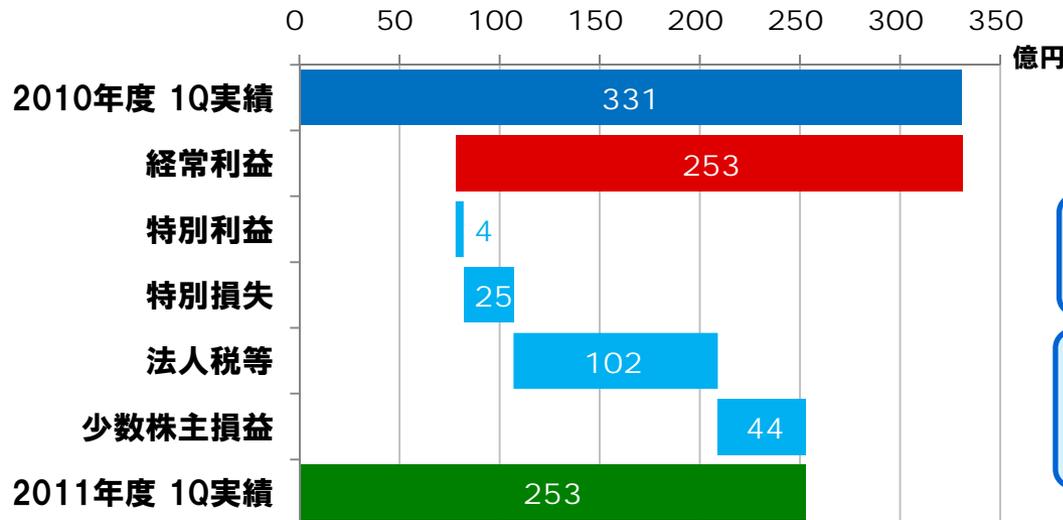
**【再掲】為替の影響**  
 USDおよびEURの日本円に対する為替変動で、営業利益で約15億円の減益の影響がありました

経常利益増減要因



**営業外損益 -77**  
 ・ランバクシー 為替デリバティブ評価益、為替差益等の減少

当期純利益増減要因



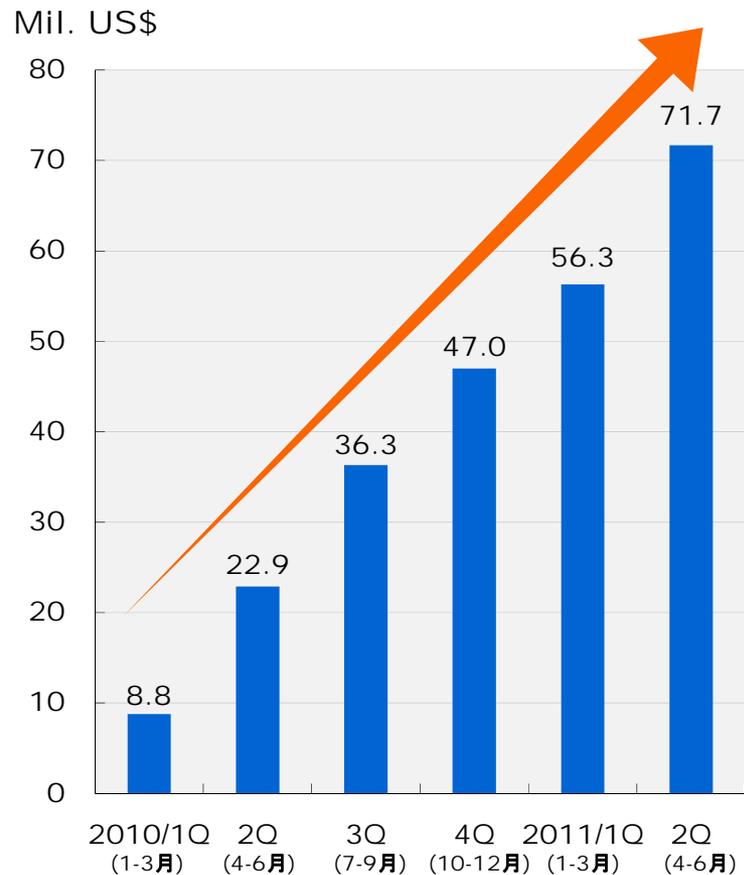
**特別損益 +29**  
 ・投資有価証券評価損の減少  
 ・災害による損失の増加

**法人税等**  
 ・ランバクシーの転換社債に対する過年度の社債利息を繰延税金資産に計上したことにより、当期税率が改善

単位:億円

		2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	2011年度	
				計画	進捗
グローバル	オルメサルタン	602	633	2,700	24%
	レボフロキサシン	170	135	530	26%
	プラバスタチン	119	102	380	27%
	プラスゲレル (共同販促収入)	8	22	非開示	-
日本	ロキソニン	130	144	580	25%
	アーティスト	61	61	230	27%
	オムニパーク	64	57	230	25%
	カルブロック	37	32	150	21%
	ユリーフ	25	26	110	24%
	メモリー	-	22	非開示	-
米国	ウェルコール	70	70	320	22%
	ヴェノファー	84	74	250	30%

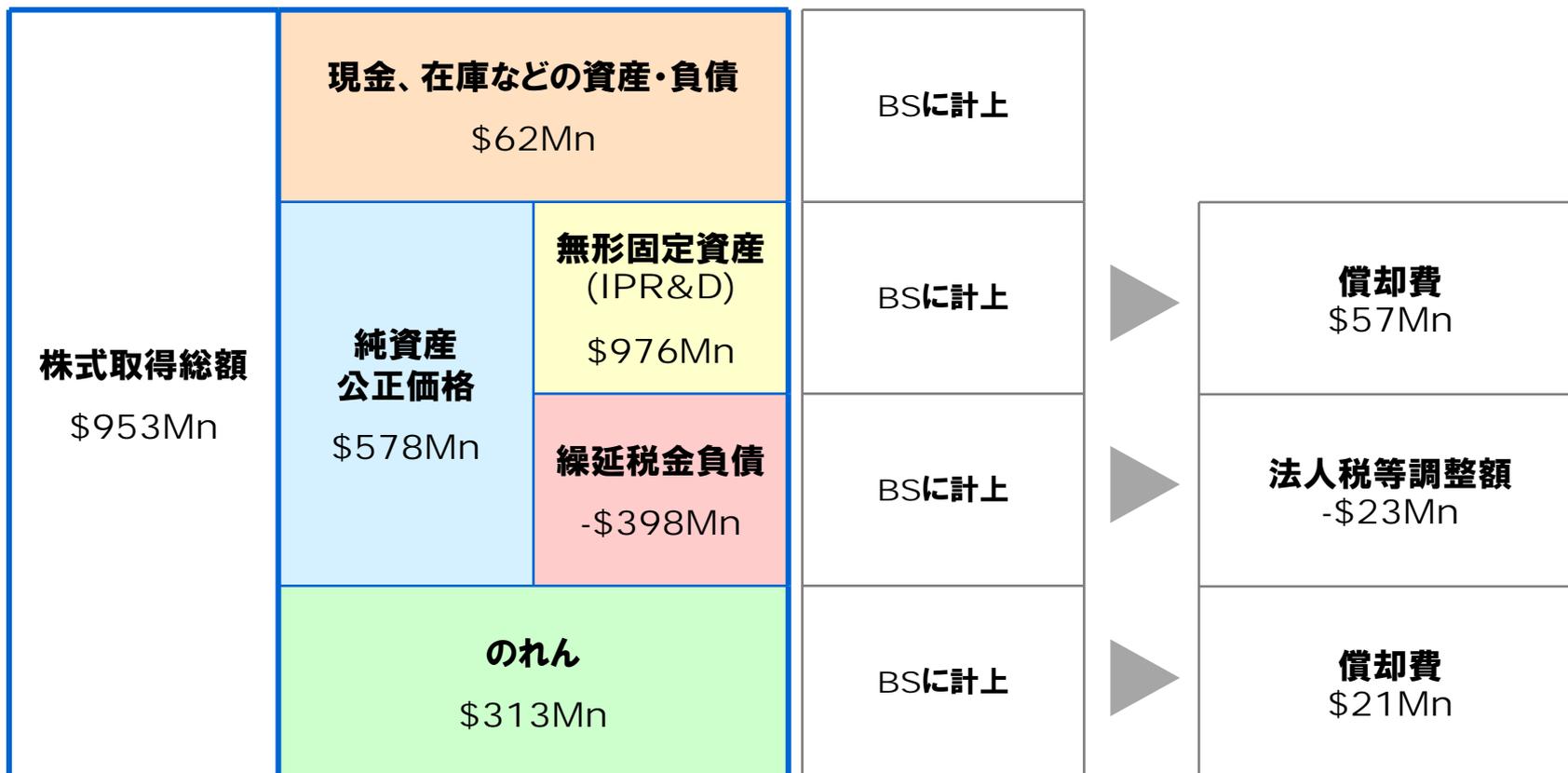
## プラスゲレル グローバル売上



\*イーライリリーの発表ベース

## 買収金額の資産等への配分

## 年間損益影響



※2011年7月時点の暫定

当第1四半期の業績を踏まえ、第2四半期(累計)および通期の連結業績予想を修正します。

- 売上高については、前回発表時に比べ為替レートが現時点では円高傾向にあるものの、主力品及び新製品の売上拡大に注力することとし、前回予想を変更していません。  
(ドル/円については年度想定レートを83円から82円に修正)
- 営業利益、経常利益については、製品構成の改善等による売上原価率の改善や、震災等の影響により一部の経費執行が第3四半期以降にずれ込むこと等により、第2四半期(累計)の予想を各々100億円増額修正します。  
通期の業績予想については、前回予想を変更していません。
- 当期純利益については、経常利益の上方修正分に加え、遊休不動産売却益やランバクシーにおける税金費用減などが見込まれるため、第2四半期(累計)予想を110億円上方修正するとともに、通期予想についても50億円上方修正いたします。

領域	Phase 1	Phase 2	Phase 3	承認申請中
循環代謝	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CS-3150 (高血圧症治療剤)</li> <li>■ DS-7309 (糖尿病治療剤)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ DU-176b(米/欧) (エドキサバン/静脈血栓塞栓(術後)/経口FXa阻害剤)</li> <li>■ CS-747(日) (プラスグレル/脳梗塞/抗血小板剤)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ DU-176b(米/欧/日/亜) (エドキサバン/AF/経口FXa阻害剤)</li> <li>■ DU-176b(米/欧/日/亜) (エドキサバン/VTE/経口FXa阻害剤)</li> <li>■ CS-747(米/欧/亜) (プラスグレル/ACS-MM/抗血小板剤)</li> <li>■ CS-747(日) (プラスグレル/ACS-PCI/抗血小板剤)</li> </ul>	
癌	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CS-7017(日/亜) (efatutazone/PPAR<math>\gamma</math>活性化剤)</li> <li>■ U3-1565(米/日) (抗HB-EGF抗体)</li> <li>■ U3-1287(日) (抗HER3抗体)</li> <li>■ DS-2248(米) (Hsp90阻害剤)</li> <li>■ DS-7423(米) (PI3K/mTOR阻害剤)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ U3-1287(米/欧) (抗HER3抗体)</li> <li>■ CS-1008(米/欧/日/亜) (tigatuzumab/抗DR5抗体)</li> <li>■ CS-7017(米/欧) (efatutazone/PPAR<math>\gamma</math>活性化剤)</li> <li>■ DE-766(日) (ニモツズマブ/抗EGFR抗体)</li> <li>■ PLX3397(米) (Fms/Kit/Flt3-ITD阻害剤)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ARQ 197(米/欧) (tivantinib/非小細胞肺癌/c-Met 阻害剤)</li> <li>■ AMG 162(日) (デノスマブ/乳癌補助療法/抗RANKL抗体)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ PLX4032(米/欧) (vemurafenib/メラノーマ/BRAF阻害剤)</li> <li>■ AMG 162(日) (デノスマブ/癌骨転移/抗RANKL抗体)</li> </ul>
感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CS-8958(米/欧) (ラニナミビル/抗インフルエンザ/ピオタと共同開発)</li> <li>■ CS-4771 (敗血症治療剤)</li> <li>■ DS-8587 (広域抗菌剤)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CS-8958(日) (ラニナミビル/抗インフルエンザ(予防)/ノイラミニダーゼ阻害剤)</li> </ul>	
骨・関節	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ PLX5622 (関節リウマチ治療剤)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ AMG 162(日) (デノスマブ/関節リウマチ/抗RANKL抗体)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ AMG 162(日) (デノスマブ/骨粗鬆症/抗RANKL抗体)</li> </ul>	
免疫・アレルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ CS-0777 (免疫抑制剤)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SUN13834(米) (キマーゼ阻害剤)</li> </ul>		
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ DS-5565 (慢性疼痛治療剤)</li> <li>■ SUN13837 (脊髄損傷治療剤)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SUN11031(米/欧) (ヒトグレリン/COPDカヘキシア)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ SUN11031(日) (ヒトグレリン/神経性食欲不振症)</li> <li>■ DD-723-B(日) (ペルフルブタン/前立腺癌・乳腺腫瘍の造影/超音波造影剤)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ KMD-3213(中国) (シロドシン/排尿障害改善/<math>\alpha</math>1A受容体選択的拮抗剤)</li> </ul>

◆2011年5月(2010年度決算発表)以降の主な変更

□新規追加

DS-7423(PI3K/mTOR阻害剤/米/P1)、 U3-1565(抗HB-EGF抗体/日/P1)



**本資料に関するお問い合わせ先**

**第一三共株式会社  
コーポレートコミュニケーション部**

**TEL: 03-6225-1126(報道関係者の皆様)  
03-6225-1125(株式市場関係者の皆様)**

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。